

舞台公演企画改善案報告書

1. 報告書提出の背景

第67回京都大学11月祭舞台公演企画において、照明機材の一部が正常に作動しないトラブルが発生し、企画の公演に重大な支障をきたす事態となった。本件を一過性の問題として終わらせることなく、今後同様の事態を防止するため、原因の整理および改善案の検討を行った。本報告書は、今後確実に改善案を実施するため、その改善内容について報告するものである。

2. 発生したトラブルの概要

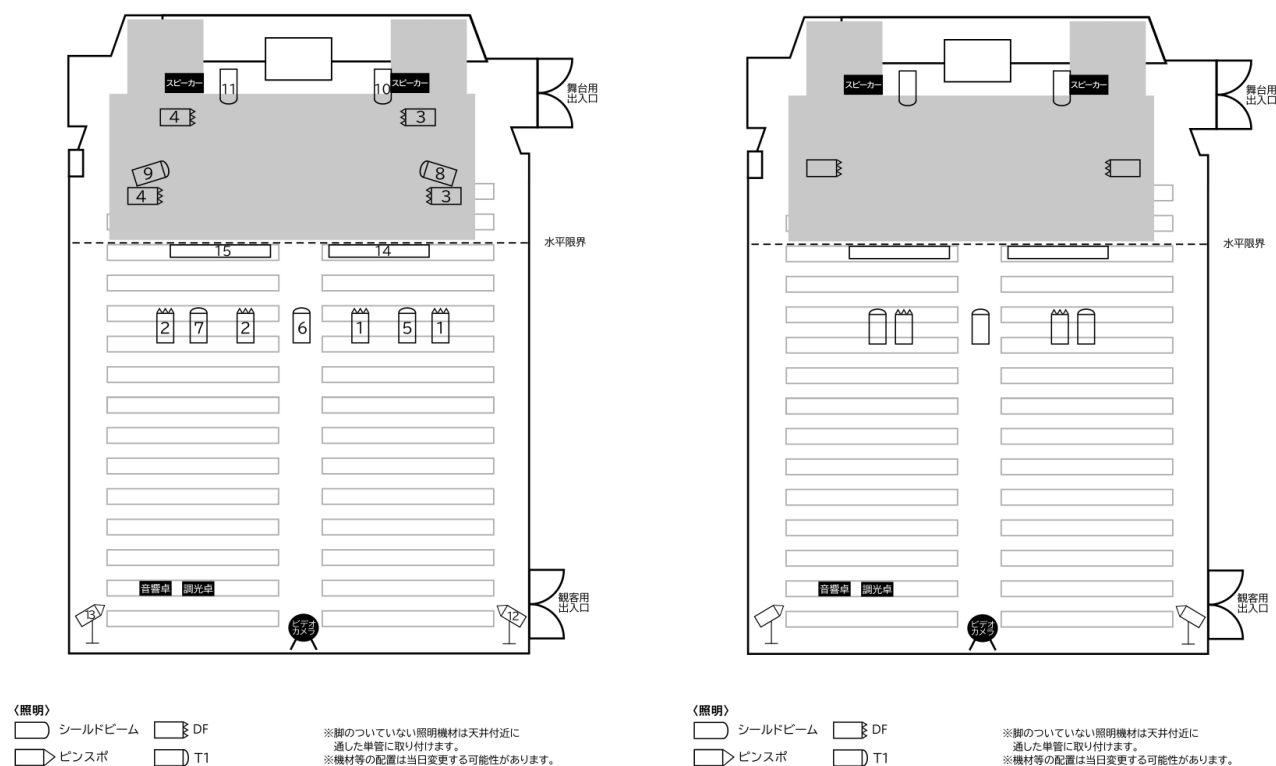
11月21日(11月祭1日目)の舞台設営中に作動しない機材が発見され、設営完了に遅れが生じた。その結果、照明を使用するリハーサルを行うことができなかった。さらに、11月22日(11月祭2日目)の早朝リハーサルでの企画の機材持ち込みによるコードの抜き差しなどの影響もあり、その後、信号不良や灯体の不具合が継続的に発生した。11月23日(11月祭3日目)の企画の公演中には照明が突発的に消灯する、あるいは点滅を繰り返し操作不能となる等の事態が発生した。最終的に、照明トラブルは完全には解消されず、企画が事前に想定していた照明演出を十分に実施することができなかった。

原因としては、借用機材の不具合、不適切な配線、機材間の相性問題等が考えられる。また、トラブル対応のための時間を十分に確保できなかったことも、迅速な問題解決を妨げた一因であったと認識している。

3. 第68回京都大学11月祭舞台公演企画で実施予定の改善案

(1) 照明プランの変更

電力負荷の軽減を目的として、必要性の低い照明を削除した新たな照明プランへ変更する。また、一部の灯体を消費電力のより低い機材に置き換える。



(2) 企画運営に関する対策

1. 企画の持ち時間を原則2時間30分(企画数などを勘案し、可能であれば3時間等に延長する可能性もある)とし、持ち時間の間に最低30分のトラブルシューティングの時間を設ける。
2. 企画の使用可能な時間の優先順位は、「持ち時間>リハーサル時間>複数回公演」と定め、各企画が必要最低限の持ち時間、リハーサル時間を確保できる場合

に限り、複数回公演を認める。また、複数回公演を行う場合には、準備および撤収時間の短縮を目的として、連続した時間帯での実施を推奨する。

3. 照明負荷の大きい企画については、できる限り各日の最終公演または最終日に配置するようにし、以降の企画への影響を最小限に抑える。
4. 11月祭1日目のリハーサル可能時間を20:00から22:00まで、11月祭2日目および11月祭3日目については22:30までとし、それ以降の時間を照明のトラブルシューティングの時間に充てる。
5. 企画による追加機材の持ち込みを一部制限する。
6. 第2回企画担当者説明会(10月開催予定)の内容を強化する。
7. トラブル発生時に迅速な情報共有を行えるよう、企画責任者向けの当日連絡網を整備する。

(3) 事務局員の対応力強化

これまで、舞台設営のノウハウのある団体の協力のもと舞台の設営を行っており、事務局員が舞台照明に関する知識および技術を得る機会は十分でなく、トラブル発生時に迅速な対応を行うことが困難であった。そのため、今年度より、事務局員が舞台照明全般について学習する機会を設ける。具体的には、10月中旬に団体の協力のもと、11月祭当日に使用予定の照明器具を用いた研修を実施し、配線方法や信号系統等について学ぶ予定である。

また、第67回京都大学11月祭舞台公演企画で発生した照明トラブルおよび企画へ与えた影響について、担当内で継続的に引き継ぎを行い、次世代以降もトラブルへの意識が風化しないよう努める。